

経済財政諮問会議 骨太方針で素案

公共事業削減数値盛らず

政府の経済財政諮問会議（議長・安倍晋三首相）は4日、6月中旬に閣議決定する経済財政の基本方針（骨太の方針2007）の素案について議論した。素案では公共投資事業費3%削減という具

改革として、真に必要な投資を選別化した上で、さらなる重点化、効率化を推進するという明記にとまり、これまで民間を推進するといった明記に「骨太の段階で、来年度予算の増減率を個別具体的に決めて、閣議決定す

改革として、真に必要な投資を選別化した上で、さらなる重点化、効率化を推進するといった明記にとまり、これまで民間を推進するといった明記に「骨太の段階で、来年度予算の増減率を個別具体的に決めて、閣議決定す

ということは大変難しい。ただ、民間議員は、マイナス3%を提言している。総理もそれを受け、『骨太06』に則って最大限の削減を行うべきだということを指示している」と述べ、骨太06を踏まえて最大限の削減を進める考えを示した。

骨太の方針06では11年度までの公共事業費の削減幅を3-1%と明記している。

素案では、公共投資改革の基本的考えとして、経済成長などを踏まえた既存の計画、目標の見直し、既存ストックの維持

・長寿命化への重点化などが盛り込まれている。また、入札談合の廃絶に向けては、一般競争入札の計画的な拡大やペナルティーの強化、詳細な予定価格と落札情報の公表などが明記されている。